

I 調査結果の概要

1 加工食品の販売額及び販売先別販売額割合

(1) 食品製造業の販売状況

ア 販売額の概要

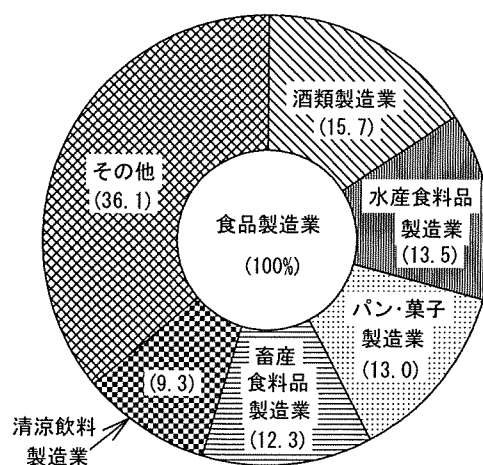
(ア) 業種小分類別構成

平成8年度の我が国の食品製造業における加工食品の販売額は、33.7兆円であった。

これを業種小分類別にみると最も販売額割合が高いのは、酒類製造業で5.7兆円（15.7%）、次いで水産食料品製造業の4.6兆円（13.5%）、パン・菓子製造業の4.4兆円（13.0%）等となっている。

（図1）

図1 食品製造業における業種小分類販売額割合



(イ) 品目別構成

食品製造業における販売額33.7兆円を主要な品目について販売額構成をみると、アルコール飲料が4.9兆円（14.6%）、次いで飲料が4.9兆円（14.5%）、水産加工品が3.7兆円（11.0%）、菓子類が2.9兆円（8.7%）となっている。（表1）

表1 食品製造業における主要品目の販売額割合

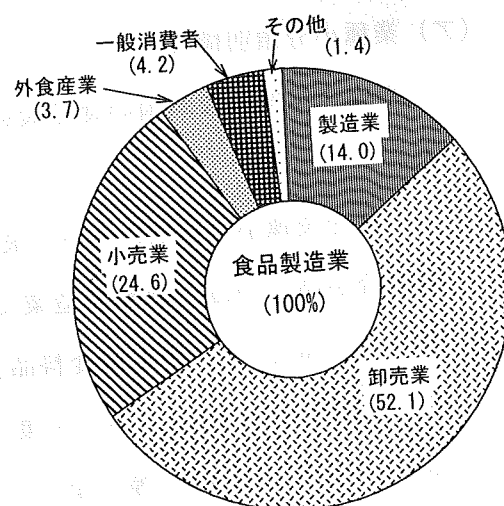
単位 { 販売額:10億円
構成比:%

区 分	販 売 額	構 成 比
食 品 製 造 業	33 707	100.0
うち、アルコール飲料	4 907	14.6
飲 料	4 883	14.5
水 産 加 工 品	3 704	11.0
菓 子 類	2 944	8.7

イ 販売先別販売額割合

食品製造業33.7兆円の販売先は、食品卸売業へ17.7兆円（52.1%）、食品小売業へ8.3兆円（24.6%）、主に原材料など食品製造業へ4.7兆円（14.0%）等であった。（図2）

図2 食品製造業における販売先別販売額割合



(ア) 業種小分類別状況

業種小分類別に販売先別販売額割合をみると、食品卸売業への販売額割合が89.9%であった酒類製造業をはじめ食品卸売業への販売が主となっている業種が多い中で、畜産食料品製造業、パン・菓子製造業及び清涼飲料製造業では、食品小売業への販売額割合が高くなっている。（表2）

表2 食品製造業における主要業種の販売先別販売額割合

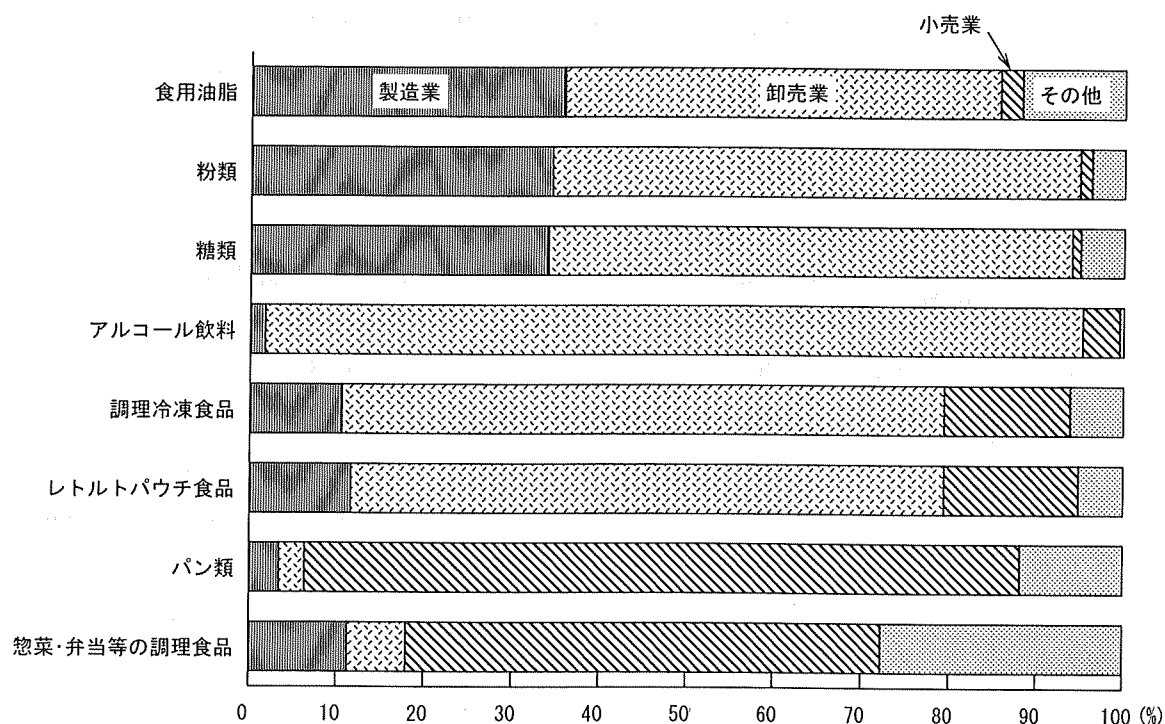
区 分	単位：%						
	計	製造業	卸売業	小売業	外食産業	一般消費者	その他
食 品 製 造 業	100.0	14.0	52.1	24.6	3.7	4.2	1.4
畜 産 食 料 品 製 造 業	100.0	10.5	37.2	41.1	6.6	1.9	2.7
水 産 食 料 品 製 造 業	100.0	11.1	61.6	19.5	3.1	3.4	1.3
パ ン ・ 菓 子 製 造 業	100.0	5.1	35.9	47.2	2.0	9.1	0.7
清 涼 飲 料 製 造 業	100.0	26.4	15.7	38.0	9.5	9.0	1.4
酒 類 製 造 業	100.0	5.8	89.9	3.9	0.0	0.3	0.1
その他の食料飲料製造業	100.0	17.4	43.1	27.4	3.5	7.0	1.6

(イ) 品目別状況

食品製造業の販売先を主要な品目についてみると、加工原料として使用されるウェイトが高い食用油脂、粉類、糖類では、食品製造業へそれぞれ35.8%、34.4%、34.0%が販売されており、製品のウェイトが高いアルコール飲料、調理冷凍食品、レトルトパウチ食品においては、食品卸売業へそれぞれ93.6%、68.8%、67.8%が販売されている。

一方、日配品と呼ばれるパン類、惣菜・弁当等の調理食品においては、食品小売業へそれぞれ81.8%、54.3%と直接販売の割合が高い。(図3)

図3 食品製造業における主要品目の販売先別販売額割合



ウ 参考

表3 食品工業生産指数 (生産額ウェイト)

(平成2年=100)

年次	食品工業 総合	畜産 食料品	食肉 加工品	牛乳・ 乳製品	水産 食料品	農産 食料品	製穀粉・ 同加工品
平成元年	98.0	100.2	103.4	98.8	99.8	101.0	99.3
2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	101.5	101.0	102.2	100.7	101.2	99.0	101.4
4	101.6	103.6	103.5	104.7	98.7	95.2	101.5
5	100.9	104.4	103.6	105.1	98.2	93.5	101.6
6	102.3	105.7	104.3	106.8	93.7	90.3	103.8
7	101.7	104.6	105.7	104.7	92.9	89.2	104.3
8	103.5	106.0	103.4	107.6	91.0	89.0	105.4
9	103.9	105.7	100.8	108.2	91.3	87.6	104.6

年次	食用油・ 同加工品	砂糖	調味料	飲料	菓子	調理食品	その他 食品
平成元年	100.2	100.1	99.3	91.4	100.8	91.2	99.7
2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	99.2	100.6	100.5	101.5	104.6	109.9	98.5
4	99.9	97.2	102.8	99.0	104.3	117.3	100.0
5	101.5	93.6	102.7	96.4	101.3	119.2	102.0
6	101.5	93.0	101.6	103.2	94.3	128.0	101.6
7	102.1	92.0	101.3	102.3	93.3	134.9	95.1
8	103.3	92.3	101.4	104.3	99.4	140.4	99.7
9	105.6	90.3	101.0	107.1	98.1	144.6	98.6

資料：食品需給研究センター『食品産業動態総合調査』

(2) 食品卸売業の販売状況

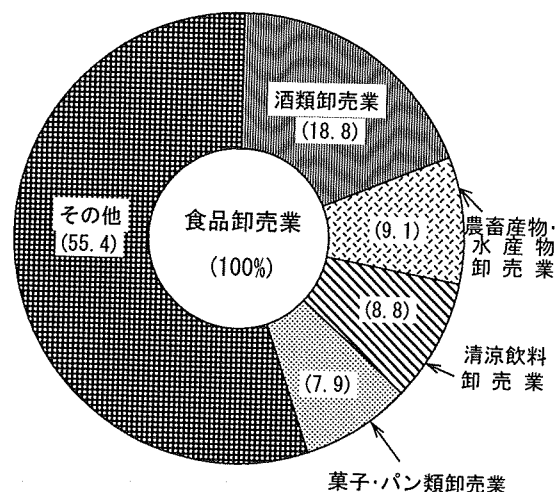
ア 販売額の概要

(ア) 業種小分類別構成

食品卸売業における加工食品の販売額は、42.5兆円であった。

これを業種小分類別にみると、最も販売額割合が高いのは、酒類卸売業で8.0兆円（18.8%）、次いで農畜産物・水産物卸売業が3.9兆円（9.1%）、清涼飲料卸売業が3.7兆円（8.8%）、菓子・パン類卸売業が3.4兆円（7.9%）等となっている。（図4）

図4 食品卸売業における業種小分類別販売額割合



(イ) 品目別構成

食品卸売業における販売額42.5兆円を主要な品目について販売額構成をみると、アルコール飲料が7.5兆円（17.6%）、飲料が7.0兆円（16.5%）、水産加工品が6.0兆円（14.4%）及び菓子類が4.1兆円（9.7%）となっている。（表4）

表4 食品卸売業における主要品目の販売額割合

単位 { 販売額：10億円
構成比：%

区 分	販 売 額	構 成 比
食 品 卸 売 業	42 539	100.0
うち、アルコール飲料	7 505	17.6
飲 料	7 017	16.5
水 産 加 工 品	6 001	14.1
菓 子 類	4 116	9.7